



土づくり

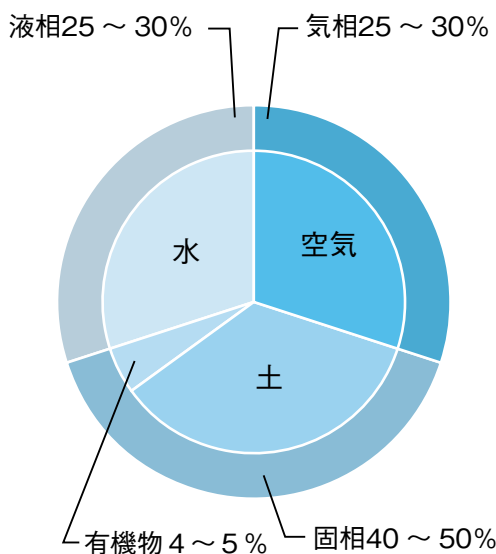
野菜や果樹が、大きく丈夫に育つためには根が大切で、す。根は植物を支え、育つための養分・水分を吸収し、体内でできた養分を貯えています。そのため、土が根の生育に適さないと植物は正常に生育できません。野菜では作物がない時期、果樹では根の生育が停止する冬期に土作りを行います。今回は上手に野菜や果樹を育てるための土作りについて解説します。

よい土とは

空気をたくさん含み、排水が良く、軟らかいことが良い土の条件です。雨が降った後、いつまでもジメジメしたり、固くしまったりする土では、植物の根が伸びることができません。一方で、水分や肥料成分を

貯える働きも重要です。一般的に保水力や保肥力（肥料や水を貯える力）の高い土は粘土や有機物の多い土です。

したがって、良い土は固相（土）、気相（空気）、液相（水）のバランスがとれているといえます。（左図参照）



一般的に植物が生育しやすい土の酸度（pH）は、5.5 ~ 6.5ですが、日本は酸性の雨が降るため、石灰分が流され酸性化しやすい状況にあります。そのため、アルカリ性の石灰資材で、酸度の矯正が必要になります。

土作りの方法

土の状態をよく見よう

①土の色
黒っぽいほど有機物が多く、灰白色や黄色く赤褐色の土はやせた砂や粘土が多いものです。島しょ部の多くは花崗岩のやせた真砂土が多く、粘土を含み硬く固まる土がよく見られます。

②生える雑草の種類
ハコベやナズナが生える土が肥えています。スギナやオオバコ、カヤツリグサが生える土地は酸性で土がやせています。

有機物の施用

固くしまりやすい土を軟らかく改良するには、植物繊維を多く含んだ植物性堆肥（腐葉土、バーク堆肥、ピートモスなど）や植物性堆肥と家畜ふんを発酵させ



深く耕す

冬の深耕は表層と下層の土を入れ替えることで、越冬している害虫を寒にさらしたり、草を生えにくくさせたりするなどの効果もあります。

また、果樹では根が土中深く入るので、堆肥を表面に施用するよりも、枝の外側の地面2〜4ヶ所に深さ30cmほどの穴を掘り、その中に堆肥や落ち葉、剪定枝などを入れて埋め戻す方法が良いでしょう。（上図参照）苗木での施用で効果がより現れます。

堆肥や有機物の施用は、すぐには効果が現れにくいですが、毎年施用することが重要です。

石灰資材の施用

土の酸度（pH）を矯正するため、苦土石灰やサライムなどの石灰資材を施用しましょう。施用量は1㎡当たり100〜120gが目安です。





貴重な財産を

未来へ

1月26日は

文化財防火デーです

上島町消防署では、文化財防火デーに文化財の防火管理者とともに、消防設備の作動点検や放水銃による放水訓練を行っています。

先人達が残した貴重な財産を火災などの災害から守り、未来に残していくため、重要文化財の火災予防につとめていきます。

文化財防火デーとは？

昭和24年1月26日に、世界最古の木造建造物である法隆寺（奈良県）の金堂において火災が発生し、十二面壁画（仏画）の大半が焼損しました。

この火災をきっかけに、国民の文化財愛護意識の高揚を図るため、昭和30年に消防庁と文化庁の共唱により、1月26日を文化財防火デーとして定められました。



国指定重要文化財
弓削土生地区

じょうこう じ かのんどう
定光寺 観音堂

天井板に1463年の墨書があり、これが建立の年とされ、昭和52年に国の重要文化財として認定されました。



国指定重要文化財
岩城西部地区

しょううん じ かのんどう
祥雲寺 観音堂

1431年に建造された観音堂であり、昭和25年に国の重要文化財として認定されました。



火災・救急・救助は
119
【上島町消防署】
TEL 77-4118

平成28年11月 出動件数

摘要	火災	救急
弓削	0	14
生名	0	9
岩城	0	6
魚島	0	1
合計	0	30
平成28年累計	4	431

平成28年11月30日現在



小型ポンプ操法・ポンプ車操法・分列行進など、消防団員の日頃訓練した成果や永年の活動に対する表彰式が実施されます。見学は自由となっておりますので、気軽にご来場ください。
※雨天の場合は、ポンプ操法などは実施せず、弓削体育館で実施します。

平成29年消防出初式のお知らせ

日	程
平成29年1月22日(日)	
開式時間	
午前10時～	
場	所
弓削小学校グラウンド	